

平成26年度 長岡市三島郡家庭科部 活動報告

副部長 細金 文子

1 研究主題

よりよい生活を創り出す児童を育成するための授業改善

2 研究の概要

- (1) 4月24日(木) 家庭科部会総会 年間計画立案 長岡市立大島中学校
(2) 10月30日(木) 授業研究会 長岡市立栖吉小学校

3 研究の実際

(1) 授業公開

- ① 授業者 長岡市立栖吉小学校 5年1組担任 竹垣 有子 教諭
外山 美奈 栄養教諭
- ② 題材名 元気な毎日と食べ物
- ③ 本時のねらい 三つのグループの食品を組み合わせることにより、栄養のバランスがよい食事になるように、自分の朝食の献立を作ることができる。
- ④ 本時の展開 (4/11)

時間	学習活動	発問・児童の反応
10分	本時の学習課題の確認	T 三つのグループの食品を組み合わせ、栄養のバランスのよい朝食の献立を作りましょう。
20分	自分が考えた献立の改善	T 考えてきた献立を、栄養バランスがよくなるように工夫しましょう。 C ワークシートに記入する。 T 栄養教諭からアドバイスをもらいます。
10分	工夫した献立の発表	T 班で発表し合ひましょう。 C ビタミンをたくさんとるようにした。
5分	本時のまとめ	T 今日の学習で思ったことを書きましょう。

(2) 協議会

《主な意見》

- ・ 前時までの学習で、五大栄養素のことがよく理解されており、献立作りでも「脂質」「タンパク質」などの言葉が適切に発せられていた。
- ・ ワークシートがよく考えられていたことが児童の思考を活発にしたことにつながった。
- ・ 食品カードを使って献立の工夫をしたが、児童はカードに興味を引き付けられてしまい、作業が進まない様子も見られた。カードは精選が必要だったのではないか。
- ・ 栄養教諭の話で、普段の献立作りで配慮していることを聞いたことで児童の考えの広がりが見られた。

《指導》 新潟大学教授 高木 幸子 様

- ・ よい雰囲気の中で、熱心に学習が進んだ。献立作りが次の実習へとつながるようにまとめることで児童の意欲の高まりが図れる。



4 成果と課題

本年度は、郡市の重点教科であり、授業研修会で新潟大学教授 高木幸子先生から指導を受けることができた。家庭科教育の根幹にかかわるお話や、これからの指導の在り方について演習を交えて講演いただいた。参加者の協議も活発に行われ、有意義な会となった。